

パンデミック研究ワーキング 2023

日時；2023年8月25日(金) 14時～17時

場所；内閣官房会議室（内閣府庁舎・中央合同庁舎第8号館）

参加生徒；厚木高校 1年生 2名

（一般公募企画のため、他高校及び大学生も参加）

【内容】

- 14時00分～14時20分 講義；Covid-19 AIシミュレーションプロジェクト紹介
講師；慶應義塾大学 環境情報学部 教授 神成 淳司 氏
- 14時20分～14時40分 講義；富岳のシミュレーションはどのようにして生まれたのか
講師；理化学研究所/神戸大学 教授 坪倉 誠 氏
- 14時40分～14時55分 講義；若手研究者の挑戦
講師；公益財団法人東京財団政策研究所 千葉 安佐子 氏
- 15時05分～15時55分 ネットワーキング・ディスカッション
- 15時55分～16時00分 アンケート記入
- 16時00分～17時00分 懇親会

【概要】

今回は、内閣官房の新型コロナウイルス感染症対策室（現内閣感染症危機管理統括庁）と株式会社三菱総合研究所⁽¹⁾の企画に厚高生（1年生）2名が参加してきました。会場が内閣府庁舎のため、最寄り駅降りたらずぐに国会議事堂と首相官邸があり、それを横目に入館しました（セキュリティチェックあり）。新型コロナウイルスで世界が混沌とした際、日本の研究者はどう研究し、日本政府と協議してあの時期のニュースや行動指針を出したのか、実際に研究及び提言されていたチームの一部の方々に講義していただきました。

さらに、ディスカッションの時間では、各テーブルに教授や研究者の先生たちがついてくださり、高校生・大学生数名と意見交換を行いました。教授の方からは高校生に対して、「あのコロナの期間はどうか感じたのか」や「当時の市民の目線から政府関係者はどう映ったのか」等の質問があったり、生徒からは「研究はどれくらいの規模でシミュレーションするのか」や「どれくらいのペースで研究成果をまとめ上げる必要があったのか」や「どんな分野の研究者がチームにいたのか」等、穏やかな空気の中みんな鋭い質問をして各テーブルで活発な議論が交わされました。

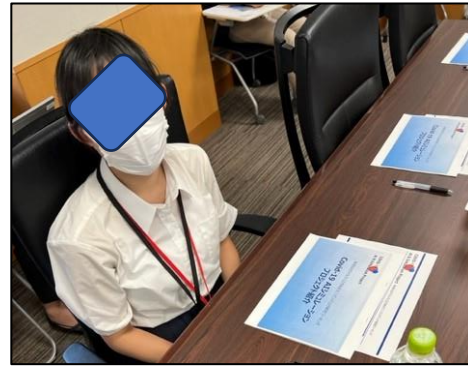
参加した厚高生は1年生のため、コロナの時期は中学1年生で新学期早々休校になり、誰にも会わず友達もできない時期を過ごしたことや、家族がリモート生活になったり、いろんな事情からなかなか会えなかったりと、様々な内容を話すことができたようでした。

参加生徒は都内の生徒が多かったにも関わらず、懇親会も含め厚高生2名はいろんな研究者や他校生と情報交換ができて充実した時間を過ごしていました。

(1) <https://www.mitsubishi.com/ja/company/detail/200000000.html>（株式会社三菱総合研究所 HP）



内閣府庁舎前で記念撮影



会議室の大きな椅子と机

※今回は建物のセキュリティの都合上、ほとんどが写真撮影不可のため、写真はあまりありません。ご了承ください。

ワクワクしつつも、2人とも物怖じせず活発に意見交換してくれました。



【生徒の振り返りの一部】

- ・コロナのシミュレーションシステムや有識者たちの話し合いがあって、それを踏まえて政府の人たちが発表していることがわかりました。また、グループワークでは、他校の人や大学生の人、また教授など色々な立場の人から意見を聞くことができ視野が広がりました。大人になっても、様々な分野の人たちと繋がりを持っていることが大事だとどの先生もおっしゃっていたので、今のうちに色々な方面で友達を作っておこうと思いました。
- ・自分が想像していたよりも、すごく多くの団体が協力して研究を行い、それぞれが色々な経緯で参加していることがすごくよくわかりました。また、専門の分野に偏らず、広い視野を持って学ぶことの大切さを痛感しました。そして、研究題材の決め方にもすごく参考になる点が多かったです。
- ・色々な分野の先生の話が聞けて面白かったです。医療の分野だけではなく、一見関係のないような様々な分野も一緒になってコロナの対策をしているという点に驚きました。懇親会では他校の友だちもできたり、たくさんの大学の先生たちと話ができたりして楽しかったです。大学の先生たちの学生時代の話や、アメリカの中央銀行で働いていた先生の話聞くことができ、面白かったしとても参考になりました。高校や大学のうちに色々なことを経験して、見聞を広げて将来に役立てていきたいと思っています。
- ・テレビなどで出ている情報にも、すごく裏でたくさんの人が動いていることを改めて実感し、その本人と話したことはすごく貴重な経験だったなと思います。今日の経験や新しい人脈は、これからの人生にすごくためになると思います。また、将来自分もこういう雰囲気のところ色々な人と出会って、情報共有や議論などをするような仕事をしてみたいと思いました。特に、神成先生のように、色々な分野で仕事をし、常に楽しんでいる姿には憧れます。自分も勉強や研究の面白さなどをよく感じるので、それが仕事になってもその楽しさを感じている方がいることを知れて、すごく嬉しかったです。これからもこの気持ちを忘れないでいようと思います。